

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 55 号

令和 8 年 2 月 28 日



「夕暮れ・灯を掲げて」

デザイン・絵画科 3 年 新宅 恵介

夕日が沈んで消えてしまわないように、ランタンに夕日を閉じ込めました。空は毎日違った景色を見せてくれて、同じ空は一日もない。一度だけの空の一瞬を切り取りました。

【活動歴】

- | | | | | | |
|------------|------|------------------------|------------|------|---------------------------|
| 2023(令和 5) | 4 月 | 写真部に入部 | 2025(令和 7) | 4 月 | 写真部 部長 |
| | 6 月 | 第 29 回 高岡市民美術展 入選 | | 6 月 | 第 80 回 富山県美術展 入選 |
| | 9 月 | 第 48 回 富山県青少年美術展 入選 | | 6 月 | 第 31 回 高岡市民美術展 未来賞 |
| 2024(令和 6) | 6 月 | 第 30 回 高岡市民美術展 入選 | | 8 月 | 個展「軌跡-高校生の僕がみる世界-新宅恵介写真展」 |
| | 9 月 | 第 49 回 富山県青少年美術展 佳作 | | | 射水市小杉展示館にて開催 |
| | 10 月 | 第 19 回 射水市展 奨励賞 | | 9 月 | 第 50 回 富山県青少年美術展 入選 |
| | 12 月 | グループ展「三人展」青井記念館美術館にて開催 | | 10 月 | 第 20 回 射水市展 20 回記念特別賞 |

企画展

工芸科作品展2025

3月15日(日)～4月13日(日)

一年間の成長をここに 26H 鎌仲 成実

私はこの作品展を通して、一年間の努力が作品に詰まっていると思えました。見に来てくれた家族から「成長したね」と言ってもらえてすごくうれしかったです。

作品展という



「展示空間」に置かれることで、普段の教室では感じられなかった作品の魅力が引き立つのを感じました。照明の当て方や空間とバランスの中で、自分の作品がまるで別の表情を見せているようにでした。ほかの生徒の作品も、それぞれの個性や工夫が際立ち、ひとつひとつに込められた思いや努力がより伝わってくるように思いました。

一年前にはできなかった技術や表現が、今は少しずつ形になっている。そう思えたのは、積み重ねてきた挑戦と失敗、そしてあきらめなかった自分の姿が、作品に現れていたからだと思います。

この二年間を振り返ってみると、うまくいかな

いことも多かったけれど、そのたびに考えて、工夫して、少しずつ乗り越えてきました。その積み重ねが、今の自分の作品になったのだと思います。展示という形でその成果を見てもらえたことは、大きな自信につながりました。

「一年間の成長をここに」という言葉には、そんな私自身の歩みと、これからもっと成長していきたいという思いを込めています。これからも素材と真剣に向き合いながら、自分にしか作れない作品を目指していきたいです。

はばたけ未来へ 現代工芸美術家協会富山会展 2025

6月10日(火)～6月22日(日)

今回、二回目となる現代工芸美術家協会富山会による展覧会を開催。

県内の会員らが金属や革、陶器などの素材を駆使して独自の美を表現した作品27点を展示した。



第4回図(ふゆをかこむ)展

7月6日(日)～27日(日)

富山大学教授 辻合 秀一

2025年7月6日(日)から27日(日)に第4回図展を開催しました。この企画展は、辻合研究室に関わる学生や卒業生の発表の場として開催しました。今回は、特別に三上拓哉先生から「富山大学高岡キャンパス3D点群映像」と富山大学芸術文化学部卒業生でアンビグラム画家の野村一晟君の作品を含め24点を展示しました。



富山大学芸術文化学部卒・修了制作展「GEIBUNING」に展示した4点に加え、展示しなかった「AI思考力調査」も展示しました。

富山大学芸術文化学部は、2022年よりオープンコース制になり、それまでに行われていた2年コース配属に代わり研究室配属になりました。辻合研究室では、2年生1名、3年生3名、4年生4名がおり、OGを含めた動画やイラスト等の作品を展示しました。

末筆とはなりませんが、高岡工芸高等学校との御縁により青井記念館美術館で開催できましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

富山大学芸術文化学部絵画分野選抜展

7月6日(日)～7月27日(日)

富山大学芸術文化学部4年 岩城 悠里

今回の絵画分野作品展では、学生が主体となつて展示の企画・運営を行いました。分からないことが多かったにもかかわらず、学生同士、それぞれの役割を果たしながら協力して準備を行うことができましたと感じています。私は友人と共に初めてDMやポスターのデザインを担当しました。デザインの経験もほとんど無い中で、レイアウト案について話し合い、各々ができることに取り組み、助け合いながらDMを納得する形で完成させることができました。今回の貴重な経験は、今後、作品制作や展示を行っていく上でも活かしていきたいです。



琥珀の光が照らす道

垣内先生がつなげてくれたOB・OG企画展

8月3日(日)～8月24日(日)

本野 佳司子

デザイン科にご勤務されていた垣内先生をご縁とした今回の企画展。周知もままならず

規模もイメージも全く見当つかずでしたが、「やるよ!」「手伝うよ!」と卒業生の皆さんが集まって下さり、無事開催できました。作品から、様々な場でデザイン科卒業生が活躍されていると感じ、来館いただいた方々とは、高校時代を共にしたように思い出話に花が咲きました。出品や様々な形でご協力下さった皆様に感謝いたします。



同窓生作品展

～教職員・卒業生～

8月3日(日)～8月24日(日)

◆同窓生作品展 展出品者 (50音順)

- | | |
|--------|-------|
| 五十里伊規子 | 猪原 惟 |
| 岩城 大介 | 太田紀久雄 |
| 大村 雅章 | 米納 睦子 |
| 坂井 茂 | 笹波 美恵 |
| 島田 一子 | 炭谷 尚夫 |
| 寺 直彦 | 中嶋 真也 |
| 中山 裕晃 | 般若 保 |
| 森下 袖季 | 吉井 清隆 |
| 米谷 吉文 | 渡邊 楽 |
- ◆教職員出品 (50音順)
- | | |
|-------|-------|
| 石黒 律子 | 太田 広信 |
| 菅原 幸 | 鈴木甲一郎 |
| 広上由香子 | |

◆同時開催

工芸生ギャラリー
第31回 高岡市民美術展の受賞・入選作品



Departure 葛井保秀 金工展

12月7日(日)～1月12日(月・祝)

葛井 保秀

私が金属工芸に出会ったのは、人間国宝の金森映井智先生の御作品を間近に見て、その美しき、その精工さに感動し、自分も作ってみたいと強く思った時からでした。と言っても、岐阜県の飛騨市に生まれ、右も左もわからない私にはどこから手をつけていいかも分からず、はじめは高岡市の伝統工芸スクールで、彫金から学び始



めました。その後現代工芸美術家協会に所属し、春は現代工芸展、秋は日展に出品するというペースで現在に至りました。仕事をしながら、余暇のほとんどを制作に当てました。また出会い、導いて下さった諸先生には感謝しかありません。

使う金属はほとんど黄銅(真鍮)かアルミニウムで技法は鍛金と鑄造です。高岡ならではの産物です。現在歳も取り足掛け30年間の集大成、また終活の一部として展示させていただきます。

第10回デザイン・絵画科 ギャラリーD

1月17日(土)～2月8日(日)

27H 渡邊 咲

ギャラリーDの展示は、1年、2年生の授業の作品を中心に、冬休みの課題や3年生の課題研究ポスターなど、デザイン・絵画科の生徒の作品が一同に展示されます。

今年のギャラリーDは、自主制作の作品を3点展示しました。そのうちの一つは、ギャラリーDに向けて制作したものでしたが、反省点がいくつかありました。時間が足りず、自分の納得いく完成度に仕上げられなかったことです。今回の作品は友人たちから好評で、素敵な感想やアドバイスをもらうことが出来ました。ギャラリーDは他の展示会に比べより親しい方に作品を見てもらえる機会だと感じています。今回の反省やアドバイスを今後の制作に活かしていきたいと思っています。

同窓生ギャラリー

第3回中嶋真也写真展

「WHO - INSIDE?」

4月27日(日)～5月18日(日)

中嶋 真也(H27 デザイン・絵画科卒) 青井記念館美術館での展示は、今回が3回目となります。お声がけいただきありがとうございます。

今回の展示は、長野県飯綱町に移住してから、仕事で撮影してきた写真を、再度自分なりの解釈でトリミングしてフレームに収めたものとなります。



高校を卒業してからは、新潟、東京等と住居を転々としてきました。現在は、長野県に拠点を移し、写真映像作家兼グラフィックデザイナーとして活動しています。また、夫婦で自家焙煎の珈琲屋も運営しています。

フリーランスになってからというもの、忙しい日常を送っているところですが、自分の感性を忘れないように日々作品づくりを励んでいます。

富山県内で作品展示をする機会があまり無かったので、今回この充実した環境で広々と展示をさせていただいて本当に感謝しています。そして引き続き、この場所で作品展示ができればと思っていますので今後ともよろしくお願致します。

リプロ絵画展

4月27日(日)～5月18日(日)

炭谷尚夫(S40機械科卒/旧二上工業) 2025年5月に同窓生ギャラリー第162回リプロ絵画展を開催できありがとうございます。

2011年より絵を描き始め毎年同窓生作品展に出品して、昨年展示の折り声掛けがあり絵画の指導を受けている同窓生の河上健三さんとの二人展になりました。



リプロは「もう一度頑張ろう」の意味合いを持って命名して活動しております。今回の作品は描き始めた頃の風景から次第に抽象画に変化し2024年1月1日の能登半島地震の液状化で路面のクラックをモチーフにしたものなど15点を展示しました。これから「身のまわりからの感動を絵に」をモットーに描き続けたく思います。

第163回

第12回工芸建築科同窓会・作品展

9月7日(日)～9月20日(土)

14H 金森 淳平

「建築科同窓会展を見て」

私は、建築科同窓会展を見て施工業者によ

る知識と技術がなくては、その部材を生かすことができないということが分かりました。また、建築物には人の生き方や考え方が形となって現れるとおもいました。

展示には、環境への配慮など、建築が社会問題に対してどのくらい関わっているのを感じられる作品がありました。

私が、作品を見た中でも印象的だったのは「パリアフリー計画」と書かれた作品です。高齢者や障害のある方が利用する



パリアフリートイレや目の不自由な方が手で触って確認できる触知など、どのような方が使っても便利だと思えるような考えで作られている建物があるということを知りました。また、展示には画像などがあり、見る人の目を引くような工夫がされていました。私はこの同窓会展を見て、建築は社会に深く関わっていると改めて感じました。

第164回 SACHIE展

つくりたいをかたちに…

12月7日(日)～12月12日(月・祝)

菅原 幸 (H14 工芸科卒)

2025年12月7日から2026年1月12日まで個展を開催しました。主題を前回の個展と同じく「つくりたいをカタチに」し、漆やぬいぐるみなどの布製品、アクセサリーなど幅広く作品を展示しました。

漆の作品は、伝統工芸展富山支部に出品した高岡伝統である勇助塗りの技法を用いた作品を出品しています。また漆の食器は、食品サンプルなどを使って展示し普段の生活の中の漆食器の使用をイメージしやすいようにしました。

他の作品も日々の生活を楽しくしてくれるような小さな作品が多くなりました。「くるみ割り人形」の世界観を再現した展示、植物や時節を楽しむ雑貨など、観覧者の皆さんがわくわくしていただけのように展示に取り組みました。今回は、なかなか作品展に出品できる機会のない作品を見ていただけてうれしく思います。展示の機会をいただきありがとうございます。

尚美展企画展

文化部作品展

9月28日(日)～10月26日(日)

写真部 37H 新宅 恵介

青井記念館美術館で行われた尚美展企画展に、写真部員が作品を一点ずつ出品することとなり、僕は青少年美術展に出展した作品を展示しました。「静けさの中にある儂い美」をテーマに掲げ、静けさの中に潜む光や空気の揺らぎを写真で表現す



はぐくみ会会員募集のお知らせ

ることを意識しながら撮影しました。展示を通して自分の作品を客観的に見ることができました。作品をただ撮るだけでなく、見る人にどう伝えるかを考える大切さを学びました。光や構図の選び方一つで印象が大きく変わることを実感し、表現の奥深さを改めて感じました。これからも、人の心に残るような表現を目指してがんばっていきたいと思います。

年会費(年1回納入)

・一般会員(個人)

2,000円

会費納入は左記へお願いします。

(直接事務室への納入も可能です。)

郵便局 □座番号 00710-0131367

青井記念館美術館はぐくみ会

詳細は青井記念館美術館までお問い合わせください。

連絡先 高岡工芸高校

TEL(0766) 2116300(代)

編集発行

富山県立高岡工芸高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 ☎933-8518 高岡市申川一-1-20

TEL(0766)2116300

FAX(0766)2116311